

# 読売新聞 4月28日掲載分

## 高垣真路の TeeBreak

### 「ころがし」

### 広告

（ピッチ＆ラン）

ゴルフではピンまで約50ヤード（45m）以内のエリアに入ると、アプローチショット（寄せ・チップ）をします。そのときの地形によってサンドウエッジなどを使って球を空中に高く「上げる」（ピッチ・ロブ）方法と、7番アイアンなどのクラブで地面をコロコロ走らせる「ころがし」（ランニング・ピッチ&ラン）のどちらかを選択します。そしてランニングの中でも、「上げる」ためのクラブをわざと「ころがし」のクラブの角度に立てて（かぶせて）打つワザ



このコーナーは西の森ゴルフパークの提供による、契約プロ・高垣真路プロのコラムです。



「ピッチ&ラン」

ン）がよく使われます。世界王者と言われるプレーヤーがデビュー当時《3番ウッド》を使ったランニングをやって、そのアイディアの柔軟性に世界中が驚かされました。また日本プロ選手権の最終ホールで《バンカー》の中からパンター》のランニングで優勝を決めた男子プロがいました。

（PGAティーチングプロA級）

おかげさまで **5月15日まで**  
**30TH ANNIVERSARY**  
**キャンペーン**  
**実施中!**

西の森ゴルフパーク  
宇都宮市駒生町1780-1  
☎028-652-3344 西の森ゴルフ 検索

この「高垣真路の TeeBreak」は、「読売新聞栃木版」に  
毎月最終金曜日に掲載されています。